



〒857-8585(住所不要) 市役所秘書課広報係(☎24-1111)
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp

おたよりコーナー

広報紙に対するご感想や日ごろ感じていることなど、お便りをお寄せください。

九十九島の作文が新聞に掲載されたことを懐かしく思い出しています

鵜渡越町 馬場 淑子さん(63歳)

広報させばの九十九島の記事を見ていて、中学2年生の時に学校で「お国自慢」という題名で作文を書いたことを思い出し、懐かしくて筆を執りました。わたしは、姉から聞いた九十九島の言い伝えを書きました。それは「100ある島の中のひとつが、ある夜酒盛りをするための酒を買いに行かされました。

その帰りにちょっと一杯、もう一杯...と盗み飲みをしているうちに眠ってしまい、夜が明けて帰るに帰れなくなって佐世保湾に留まり『一里島』となりました。そうして、島は百から九十九になりました」という内容でした。

この作文を学校から東京の新聞社に送ったところ新聞に掲載され、新聞社から記念品と一緒に文通希望の人たちの手紙が送られてきてびっくりしました。その後、中学校の先生の勧めもあって、文通希望者の中から数人と手紙のやり取りをしたものでした。

(広報係から)

お便りありがとうございました。

九十九島の島の数、平成13年の調査で208と発表されました。なぜ「九十九島」と呼ばれるようになったのかは、いろいろな説があります。

九十九島には、お便りにあったもののほかに島の形や名前にちなんだ伝説が残されています。

広報クイズ

はがきに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、11月23日必着でどうぞ。

問題の 中に文字を入れてください。答えのヒントは、紙面の中にあります。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書券をプレゼントします。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

問題 新しく導入されるごみ有料化制度は、来年1月 日から始まります。

問題 世界人権宣言が採択された12月10日までの1週間は 週間と定められ、さまざまな啓発活動が行われています。

問題 佐世保音声訳の会では、広報させばや文芸誌などの朗読をテープに録音して、 障害者に提供しています。

前回の答えは ポルトガル させば 鳥取でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

これってどんな意味?

行政用語やカタカナ用語などで、「耳にはするけど、よく分からない」というものがあれば、お寄せください。

「デートDV」とは?

DV(ドメスティックバイオレンス)とは、夫婦や恋人など親密な関係にある異性からの暴力(身体的、精神的、経済的、社会的、性的なものを含む)を表す用語です。平成13年には「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が施行されましたが、これは婚姻関係(事実婚を含む)にある男女間に起こった暴力を対象にしています。

デートDVとは、若い男女間でいわゆる「付き合っている」段階に起きる暴力のことです。これは、性的関係を伴わない場合は暴力がないのに親密な関係になるにつれ、髪や耳などを引っ張るなどの身体的暴力、携帯電話の履歴を無断で見たり自分以外の異性と会うことを制限したりする精神的暴力、性的関

係の強要や避妊に協力しないという性的暴力などを繰り返す行為を指します。

デートDVはDV防止法の対象にならないため、デートDVに悩む高校生や大学生が増えています。アメリカでは、1990年代ごろからデートDVへの取り組みが始まり、学校のカリキュラムに取り入れられている高校も多くなってきています。

市男女共同参画推進センター・スピカでは、させば男女共同参画セミナー「デートDV防止プログラム・ワークショップ体験」を11月19日に開催します。対象はDVやデートDVに関心がある人、中学・高校生の保護者、小・中学・高校の教職員、大学生などです。ぜひご参加ください(本紙17ページ参照)。

お尋ね

市男女共同参画推進センター・スピカ
(☎23-3828)

DV、デートDVに関するご相談(同センター)
女性相談専用☎24-6180(水曜と祝日を除く毎日9時~16時)

思い出の一枚

昭和初期の映画館

大宮町 大道寺實さん(80歳)

右上の写真は昭和8年ごろの山県町夜店通り(映画館通り)、右下の写真は昭和5年ごろの第3中央館館内で、いずれも戦後間もないころ、映画館経営者の故安福秀次郎さんに分けてもらったものです。

当時の映画館内は畳敷きで、希望者には火鉢が用意してありました。まだ無声映画の時代で、舞台には弁士がいて、座席の最前列では楽団が映画に合わせて演奏をしていました。日曜、祭日、映画取り換え日などは入場者が列をなすほどの盛況ぶりでした。私も親に連れられてよく見に行きました。

戦前の映画館は、山県町夜店通りに千日劇場と第3中央館、第3中央館の向かい側に第2中央館、現島瀬美術センター付近に第1中央館などがありました。

戦災で多くの映画館が焼けてしまいましたが、戦後映画全盛期を迎え、昭和30年ごろには市内に20以上もの映画館がありました。



昭和8年当時の映画館通り



昭和5年当時の第3中央館内

【懐かしい佐世保の写真をお寄せください】
写真にまつわるお話と住所、氏名、電話番号を書き、「思い出の一枚」担当あてと明記してください。